



2021

もっと知りたい

# 京都の遺跡 第8号

## 埋文センターの調査から

速報

### 小樋尻遺跡 (城陽市)

小樋尻遺跡は木津川右岸に形成された沖積平野に位置します。今回見つかった主な遺構は、古墳時代前期の自然流路と、古墳時代後期から奈良時代まで使われた人工的な溝です。

古墳時代前期の流路の中には、縄文時代～弥生時代の自然流路に手を加えて導水施設が構築されており、ここで祭祀が行われていたようです。流路からは、土器のほか鋤・鋤などの木製農具、漆塗りの盾や琴などの木製品、勾玉などが出土しました。

古墳時代後期の溝は、前期の自然流路と同じ場所を掘削したもので、飛鳥・奈良時代を通して維持・管理されていました。



小樋尻遺跡



古墳時代前期の自然流路に設置された導水施設

水路は、強度を高めるため、造成土の下に草などを敷きこむ敷葉工法とよばれる高度な土木技術が用いられていました。また、溝の北側には水位を調整するための堰が設置されていました。

遺跡が立地する宇治丘陵の西部は、古代に「栗隈」と呼ばれていた地域で、古墳時代前期に造営がはじまる久津川古墳群などがあり、有力な地域勢力が存在しました。

今回確認された流路や溝は、地域の首長層によって、灌漑施設の整備をはじめとする大規模な開発が行われたことを示す貴重な資料です。

## 遺物が語る京都の歴史

### 日本初出土の黒釉白堆線文壺 (舞鶴市満願寺跡)



舞鶴市満願寺跡出土の黒釉白堆線文壺は、表面に白い線を浮きだすように装飾された陶磁器です。中国北部の磁州窯で焼かれたもので、平安時代から鎌倉時代初頭に満願寺にもたらされました。日本国内における磁州窯産陶磁器の出土事例少なく、白堆線文を持つ陶磁器は国内初の出土例です。

【表紙写真】 京丹後市上野遺跡調査地遠景

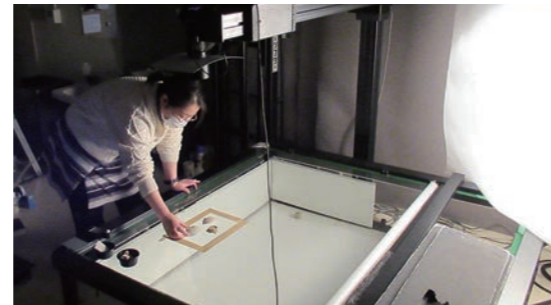
### 発掘調査

#### よもやまばなし

#### 遺物を撮る

土器の写真撮影は、全体的な形や模様などがわかるように、斜め上方向から撮影します。一方、石器や土器の破片は、照明で生じる影が写り込まないようにガラス台の上に配置し、カメラを真上に設置して撮影します。

鮮明な遺物写真の撮影こそ、カメラマンの腕の見せどころです。



【発行日】 令和3年3月

【編集・発行】

公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター

〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内40番の3

<http://www.kyotofu-maibun.or.jp>



かつて

# 京都に火山灰が降った The Age of Volcanic Ash in Kyoto



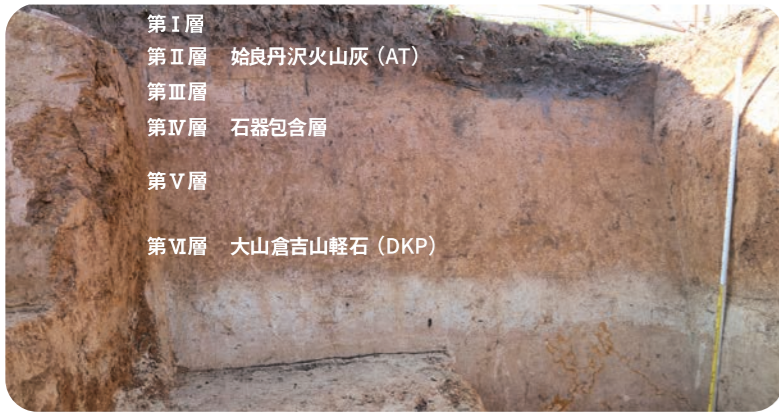
# 地中に残された痕跡と遺跡



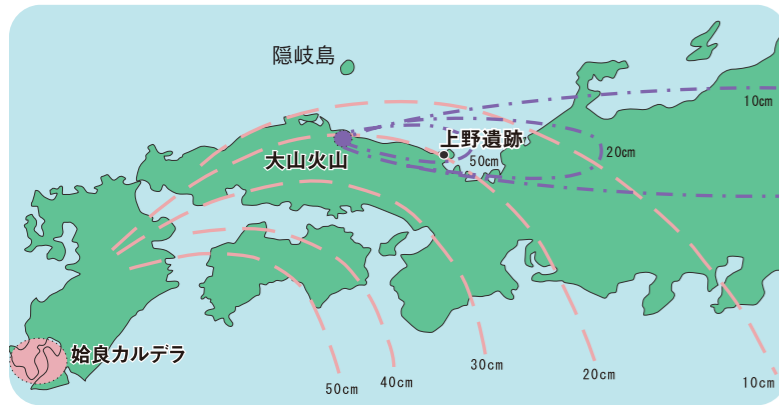
日本列島とその周辺には、火山が多く存在しています。火山は古くから温泉などの恩恵を与える一方、様々な災害ももたらしてきました。

旧石器時代や縄文時代には、現代に生きる私たちの体験した噴火とは桁違いの大噴火がありました。大噴火に伴う多量の火山灰は、風に乗って広い地域に降り積ったことから、広域火山灰と呼ばれています。広域火山灰は短期間に降り積もることから、地域を超えた地層の年代を決める鍵層として利用されています。

## 01 海に面した氷河期の遺跡



上野遺跡地層断面図



始良丹沢火山灰、大山倉吉軽石の降灰範囲  
(数字は降り積もった火山灰の厚さ、火山灰・アトラスを改変)

京丹後市上野遺跡は、標高27mの海岸段丘上にある旧石器時代から平安時代の遺跡です。

遺跡のある段丘は、昔の海底が隆起してできた地形で、約13万年前以降の堆積層が残されていました。石器は、鹿児島湾にある始良カルデラから3万年前に飛来した始良丹沢火山灰(AT)と6万年前に鳥取県の大山からもたらされた大山倉吉軽石層(DKP)に挟まれた地層から出土し、石器の年代はその特徴から約3万6千年前の後期旧石器時代前半期の遺物と推定できました。DKPは小さな軽石で、当時はあられのように降っていたと考えられます。



上野遺跡で出土した京都府最古の石器

## 02 氷河期の忘れ物

京都市北区に深泥池と呼ばれる浅い池があります。周囲が1.2kmの小さな池ですが、池の底をボーリング調査した結果、地層からは多くの花粉が検出され、氷河期から現在までの京都盆地の植生の変化が明らかになりました。地層の中からは、始良丹沢火山灰も発見されました。

池の周りには、春になるとミツガシワの白い花が咲きます。ミツガシワは寒冷地に分布する植物で、氷河期からこの場所で咲いています。



京都市深泥池(国指定天然記念物)とミツガシワ

## 03 亀岡盆地の2つの幻の湖



亀岡市三日市遺跡の地層断面(中央の白い層がAT)

京都市の北西にある亀岡盆地では、発掘調査によって旧石器時代と縄文時代の湖が新たに発見されました。亀岡市三日市遺跡の発掘調査では、木の葉などを含む厚さ約2mの粘土層が見つかりました。その特徴から、深くて大きな湖の底にたまったと考えられます。堆積層には、厚さ約30cmの白い始良丹沢火山灰層が含まれていました。

三日市遺跡の北西約5kmの南丹市池上遺跡からは、3万年をさかのぼると考えられる後期旧石器時代の台形石器が出土しています。当時の旧石器人は、降り注いだ分厚い火山灰のため食料を確保することも難しかったと想定されます。



亀岡市案察使遺跡の火山灰層(黄色い部分)



案察使遺跡の押型文土器



鬱陵隠岐火山灰降灰範囲  
(火山灰・アトラスを改変)

亀岡市案察使遺跡の地下下約1.5mの地点から縄文土器が出土しました。調査では、きなこのような黄色い地層を検出し、分析すると約1万年前に韓国の鬱陵島にある火山から噴出した鬱陵隠岐火山灰(U-Oki)であることがわかりました。縄文人たちは、火山灰で暗くなった空の下、恐怖を感じたことでしょう。

縄文土器は早期の押型文土器で火山灰の下から出土しました。摩滅していないことから、流れてきたものではなく縄文人が湖を舟で航行中、水中に落としたのかもしれない。

近代	江戸時代
近世	安土桃山時代
	戦国時代
	室町時代
中世	南北朝時代
	鎌倉時代
古代	平安時代
	奈良時代
	飛鳥時代
古墳時代	後期
	中期
	前期
弥生時代	後期
	中期
	前期
	晩期
縄文時代	後期
	中期
	前期
	早期
旧石器時代	

案察使遺跡

上野遺跡  
三日市遺跡  
時塚遺跡  
深泥池